



▲水遊びや工作などを思い思いに楽しむ子どもたち

市内小学生向けの1日限定テーマパーク「わかたけランド」を、8月23日にわかたけ広場、市中央公民館、ふくとびあで開催しました。

水鉄砲で遊ぶスプラッシュパークや体験コーナー、こども縁日など、子どもが楽しめるさまざまなプログラムを各会場に用意。びしょぬれになりながら水をかけ合ったり、オリジナルの缶バッジやシュシュを作ったり、ゲームや工作を楽しんだり、子どもたちの明るい笑い声が響く1日となりました。

夏休みの思い出に わかたけランド

▼動画はココ



▲海を安全に楽しむ方法を実践する参加者たち

一般社団法人水辺フィットネス協会主催の「海のマイスタープログラム Ver.2.0」遊びと学びで子どもを水辺の達人に！」が、7月20日に福岡海岸で開催されました。

37人の小・中学生が、海辺のプロから、ライフジャケットの着方、離岸流の危険性や海で安全に遊ぶための知識などを教わり、実際に海で泳ぐ、盛りだくさんのプログラム。海に入った子どもたちはペットボトルやクーラーボックスで浮いてみたり、浮かんだマットの上を走ってみたり、チームでSUPをこいだりと、初めての体験に戸惑いながらも元氣いっぱい遊んでいました。

水辺フィットネス協会理事の木下さんは「せっかくきれいな海岸があるので、子どもたちには、正しい知識を身に付けながら海を楽しんでほしい」と話していました。

遊びと学びで水辺の達人に 海のマイスタープログラム

▼動画はココ



福津の小学生が剣詩舞で全国大会に出場

福間小学校6年生の森崎妃奈音さんと祖母の城戸美智代さんが、剣詩舞コンクールの九州地区大会でそれぞれ優勝・準優勝し、森崎さんは全国大会に出場することを報告するため、8月10日に市長を表彰訪問しました。

吟題の「富嶽」に合わせた詩舞を披露した森崎さんは「全国大会でも優勝したい」と意気込みを語りました。

詩の世界観を舞で表現

福津の小学生が剣詩舞で全国大会に出場



▲賞状を掲げる城戸さん(左)と森崎さん(中)



▲賞状を掲げる鶴来さん(中)と城野さん(右)

キレのある「形」に驚き 全国小学生・中学生空手道選手権大会に出場

▼動画はココ



暑さの中で熱い戦い ビーチサッカーフェスティバル

ふくつビーチサッカーフェスティバル2026が8月22日と8月23日の2日間にわたって津屋崎海水浴場で開催されました。

老若男女が楽しめるクラスが設定されているこの大会に、今年は大人21チーム、子ども22チームの計43チームが参加しました。

試合では、見事なロングシュートを決めたり、ゴールキーパーがファインセーブを披露したりと、選手たちは熱い戦いを繰り広げていました。



▲幅広い世代の選手たちが熱戦を展開しました

笑顔と元氣いっぱい アンビシャス広場対抗運動会

第2回アンビシャス広場対抗運動会が7月31日にふくとびあで開催され、勝浦、津屋崎、神興、神興東、福岡、福岡南地域のアンビシャス広場の子どもたちが6つの種目で競争しました。

子どもたちは、運動会が始まる前から会場を駆け回り、元氣いっぱい。ボール運びや借り物競争、ステップリレーなどの競技が始まると、走ったり跳んだり、キャッチしたり、思い思いに体を動かして「すごく楽しかった」と笑顔で答えてくれました。



▲リングキャッチやフープくぐりを楽しむ子どもたち

▼動画はココ



～読者の皆さんから寄せられた市内の出来事や旬の話題をお届け～

街角カメラリポート

7月19日に一番近い日曜日に行われる津屋崎祇園山笠の追い山。その前夜の「裸参り」では、締め込み姿の昇き手たちが、波折神社と金刀比羅神社、宮地嶽神社の三社で安全を祈願する。

午後8時20分ごろ、一番の難所である宮地嶽神社の石段を駆け上がり、本殿に到着すると全員整列。厳かな雰囲気の中、神事が執り行われた後、お神酒が振る舞われる。

参道の出入りに準備された軽食や飲み物、披露された歌が明日への英気を養ってくれる。

津屋崎祇園山笠は、漁業を中心とした「北流」、商業を中心とした「新町流」、農業を中心とした「岡流」で組織され、約300年の歴史を有する。山笠を飾る豪華絢爛たる武者人形の合戦絵巻は、地元「筑前津屋崎人形巧房」の人形師によって、丹精を込めて手作りされ

津屋崎祇園山笠の「裸参り」

今回はU・Tさんからの投稿です

津屋崎祇園山笠には、子どもたちも多く参加している。地域を豊かにする素晴らしい行事をつないでいくために、これからも地域みんなで力を合わせていきたい。

▶境内を力強く駆け抜ける昇き手たち

